

令和 2 年度 松前町水道事業会計決算説明書

令和 2 年度松前町水道事業会計決算について、その概要をご説明致します。

まず、最初に 11 ページ「水道事業報告書」をお開き願います。

ここでは、決算の概況、総括事項を記載しておりますが、前段に「収益的収支勘定」を、後段 12 ページに「資本的収支勘定」と「当年度未処分利益剰余金」等の状況をそれぞれ掲げております。

年度末給水人口は 6,608 人で前年度より 264 人減少しており、給水栓数(メーター総数)が 4,261 個から 4,201 個と 60 個減少し、有収水量も 17,137 m³の減少となっております。この詳細は 17 ページから 18 ページの「3 業務」に掲げております。

収益的収入及び支出の状況では、収入決算額 1 億 7,349 万 6,351 円で、予算額に比較して 114 万 9,351 円の増収となりました。また、給水収益における対前年度比は 177 万 145 円、1.3%の減少となり給水人口の減少とともに水道料金の減少が常態化しつつあります。

未収金は、水道料・休栓料合わせて 534 件、111 万 4,060 円となっておりますが、これは、現年度分の納期が年度末に係る関係から多くの未収金を発生しており、このうち令和 2 年度分の未収額は 423 件、98 万 4,655 円となっております。また、営業外収益で消費税還付金 93 万 6,300 円が未収金となっております。

支出では決算額 1 億 5,597 万 4,577 円で執行率 91.6%、1,439 万 6,423 円の不用額を生じております。

未払金は261万4,081円となっております。

この結果、当年度純利益は1,679万8,630円となっております。収益及び費用についての詳細は19ページから20ページの「(2)事業収入、(3)事業費に関する事項」に掲げております。

資本的収入及び支出の状況については、収入が建設改良工事にかかる企業債、消火栓更新工事に伴う渡島西部広域事務組合からの負担金、簡易水道の建設改良工事に要する一般会計からの補助金及び江良地内大瀬橋橋梁添架管改良工事に係る工事負担金です。支出は事務費、建設改良費、企業債元金の償還、備品購入費及び車両購入費です。

1ページにお戻り願います。1ページから4ページは「水道事業決算報告書」です。

(1) 収益的収入及び支出のうち、収入の決算額は1億8,830万3,885円(消費税込み)で予算額に比べて196万885円の増収となりました。

収入決算額の内訳は25ページの収益明細書(消費税抜き)に掲げております。

一方、支出の決算額は1億5,975万8,004円(消費税込み)で1,592万1,996円の不用額を生じております。

支出決算額の内訳については、26ページから28ページの費用明細書(消費税抜き)に掲げております。

次に3ページから4ページは(2)資本的収入及び支出で、収入の決算額は1億289万6,468円で、内訳は企業債8千240万円、他会計負担金581万8,000円、他会計補助金1,040万円及び工事負担金427万8,468円となっております。

支出の決算額は1億9,028万1,787円で、内訳は建設改良費1億7,006万4,283円、企業債償還金1,904万5,784円、備品購入費10万3,070円及び車両購入費106万8,650円です。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8,738万5,319円については、減債積立金100万円、過年度分

損益勘定留保資金 5, 129 万 7, 970 円、当年度分損益勘定留保資金 2, 485 万 6, 774 円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1, 023 万 575 円で補てんしております。

資本的支出にかかる内容については、15 ページに「2 工事 (1) 建設改良工事の概況」、21 ページに「4 会計 (1) 重要契約の要旨」、22 ページ及び 31、32 ページに「企業債の概況と明細書」をそれぞれ掲げております。

次に 5 ページは財務諸表のうち「損益計算書」です。

「1 営業収益」から「6 特別損失」まで収支合計すると、当年度純利益は 1, 679 万 8, 630 円となり、前年度繰越利益剰余金 3 億 2, 135 万 3, 807 円とその他未処分利益剰余金変動額 100 万円を加えた当年度未処分利益剰余金は 3 億 3, 915 万 2, 437 円となりました。

損益計算書にかかる内容については、14 ページに「(2) 議会議決事項」「(4) 職員に関する事項」、16 ページに「(2) 維持管理の概況」「(3) 水質試験実績」、17、18 ページに「3 業務 (1) 業務量」、19、20 ページに「(2) 事業収入に関する事項と(3) 事業費に関する事項」、22 ページに「5 附帯事項 (1) 受託工事の概況」、23 ページに「(2) たな卸資産の概況」、25 ページから 28 ページに「収益費用明細書」をそれぞれ掲げております。

次に 6 ページ「剰余金計算書」では、資本金、資本剰余金、利益剰余金の受入れと処分額について表のとおりとなっておりますが、このうち令和 2 年度未処分利益剰余金 3 億 3, 915 万 2, 437 円については、7 ページ「剰余金処分計算書」において利益剰余金処分額として減債積立金に 100 万円を積立てし、翌年度繰越利益剰余金は 3 億 3, 815 万 2, 437 円となります。

次に、8 ページから 10 ページは「貸借対照表」で「1 固定資産」と「2 流動資産」を合わせた資産合計は 19 億 6, 291 万 5, 777 円となり、負債については「3 固定負債」から「5 繰延収益」までで 9 億 417 万 9, 399 円、資本は「6 資本金」と「7 剰余金」を合わせて 10 億 5, 873 万 6, 378 円となります。

また、流動資産４億１，９９６万４，５２２円に対して、企業債を除く流動負債は３７５万５，７２３円で、不良債務は発生しておりません。

貸借対照表の内容については２０ページに「流動資産」の未収金、「流動負債」の未払金、２３ページに「流動資産」の貯蔵品、２２ページと３１、３２ページに「負債」の企業債、２４ページに「キャッシュ・フロー計算書」、２９、３０ページに「固定資産明細書」等それぞれ詳細を掲げております。

以上が令和２年度松前町水道事業会計決算の概要であります。